

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：30年 12月 15日

事業所名：多機能型事業所フェローLabo

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			随時レイアウトを整え改善している	17	8	1	4	もう少し広いスペースが必要(いいえ)通常外活動の内容による(わからない)	引き続き用途に応じて最適なレイアウトを心掛ける。
	2 職員の適切な配置	○				20	3	0	7		アルバイトの配置など随時行っていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			簡易スロープの設置	19	3	0	8		要望が出た際、随時対応していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			毎日の清掃を実施している	23	3	0	4		引き続き毎日の清掃を実施する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			毎日の申し送りを行っている	/	/	/	/		申し送りの質向上を図る。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○		不定期の社内アンケート等で外部評価を行っている	/	/	/	/		積極的に外部評価を活用していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保		○		研修は月2回、その他は随時実施している	/	/	/	/		定期的に研修を行っていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				27	3	0	0	子供に合う計画を立てて頂いている(はい)	引き続き適切な支援を心掛ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				29	1	0	0	計画に基づき能力を伸ばせたり自己肯定できる様な支援をして頂いている(はい)	引き続き適切な支援を心掛ける。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			しっかり本人とコミュニケーションをとれている	/	/	/	/		引き続き適切な支援を心掛ける。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				27	2	0	1	引き続き適切な支援を心掛ける。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	○			申し送り、部署会議の実施	/	/	/	/	申し送り、部署会議等引き続き行っていく。	
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○			スタッフの得意分野を活かし、流動的に行っている	22	7	0	1	スタッフの得意分野を活かした支援を心掛ける。	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○			一日のスケジュールの見通しを立てやすくしている	/	/	/	/	引き続き適切な支援を心掛ける。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			申し送り、担当者会議の実施	/	/	/	/	引き続き適切な支援を心掛ける。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			申し送り、担当者会議の実施	/	/	/	/	引き続き適切な支援を心掛ける。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○			記録をペーパー、Excelデータ両方で保存している	/	/	/	/	引き続き適切な支援を心掛ける。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○				/	/	/	/	引き続き適切な支援を心掛ける。	
	関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○				/	/	/	/	引き続き適切な支援を心掛ける。
		2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○			該当者なし	/	/	/	/	該当者なし。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		○		該当者なし						該当者なし。
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		○		一部の児童では行っている						ニーズに応じて随時行う。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○									ニーズに応じて随時行う。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○									ニーズに応じて随時行う。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	○			イベント活動を通し、外部での活動に不定期で参加している	6	1	4	17	障がいのない児童との積極的な交流の機会を望まない(無回答)	親御様・本人との要望に応じて随時対応する。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	○			夏祭り等、イベントの実施。						社内行事等、地域に根差した支援を心掛ける。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○			契約時実施。	28	1	0	1		引き続き適切な説明を心掛ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○			個別支援計画を用いて実施。	26	3	0	3	以前は個別支援計画の際に説明や聞き取りがあった。(どちらとも)	説明が不十分とならないよう、しっかり説明の時間を設けていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○			保護者様向け勉強会を年2回実施。	7	5	5	13		親御様向け勉強会を実施しているが、より親御様からのニーズに沿った勉強会を準備していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			送迎時、連絡帳等随時情報共有を行っている。	25	2	2	1	送迎時に様子や作ったものを見せて頂いているので良く分かる(はい)	説明が不十分にならないよう、しっかり説明の時間を設けていく。
	5	○			連絡帳などで意見交換を実施。	16	7	4	3		連絡帳等活用し、保護者の方との連絡手段を整備していく。
	6	○			保護者様向け勉強会・懇親会を年2回実施。	9	7	1	14	保護者向けの学習会は良い学びになっているが、連携とまではなっていない気がする(どちらとも) つながりの場となっている(はい) 保護者同士で話す機会は少ない(どちらとも)	保護者様向け勉強会・懇親会の質向上を図る。
	7	○				14	5	1	10		迅速かつ丁寧な対応を心掛ける。
	8	○				21	3	1	4	送迎スタッフの方の対応で残念な方がいた。車中のコミュニケーションに不安を感じる。送迎でも利用者の事を全く知らないのは無いようにしてほしい。(わからない)	送迎ミーティングを開くなど、社員教育を定期的に行う。
	9	○			不定期になっている。	22	2	0	6	HPの更新されたり、されなかったりする(わからない) 行事予定はお手紙を頂いている、行事参加時は写真と報告がある、文化祭では他児童の作品も見れた(はい)	情報がしっかり伝わるよう、連絡・更新頻度を上げる。
	10	○			取り扱いについてのアンケートを実施。	23	0	1	6		適切な取り扱いを心掛ける。
非常時等の対応	1	○				10	5	4	11		実施はしているので、保護者様への周知の手段を準備する。
	2	○			年2回のペースで実施。	7	3	1	20		実施はしているので、保護者様への周知の手段を準備する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			年1回以上の研修を実施。						引き続き定期的な研修の実施を行う。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載			○	明確に記載はしていない。						必要となるケースが発生した場合、子どもや保護者に事前に十分説明・了解を得ていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		○		口頭でのヒアリングのみ。						保護者様への説明の徹底を行う。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底		○		事例集はないが、ヒヤリハットは随時社内共有している。						ヒヤリハットをしっかりと残していく仕組みを作っていく。